



小倉ロータリークラブ 週報

RIテーマ: “インスピレーションになろう”

RI会 長: バリー・ラシン 氏

(所属: NAIM、イーストナッソー RC)

地区テーマ: “寛容と思いやり そして和の心”

地区ガバナー: 岡野 正敏 氏(所属: 門司西RC)

クラブテーマ: “力を合わせて”

会長 角南 雅徳 / 幹事 坪根 悟郎



表紙写真(テーマ/ビューティフルシティ TOKYO 2018)

GINZA SIXの吹き抜けの装飾が変わりました。小さな三角旗の大集団ですが、何を意味しているのでしょうか(笑)。

【撮影: 辰巳会員 東京にて】

例会場 リーガロイヤルホテル小倉 TEL 093 (531) 1121

《報告に関して、敬称略》

例会日 毎週金曜日 12:30~13:30

事務局 e-MAIL: krpc@rid27.jp

事務局 北九州市小倉北区浅野2-14-2 リーガロイヤルホテル小倉2F

TEL (531) 1727 FAX (522) 4333

会報・雑誌 委員会 委員長: 豊川 智彰

副委員長: 井芹 重文

委員: 井手 孝幸・宮島 俊司・城 健一郎・伊井 雅明・伊東 伸夫・弓削 康弘・辰巳 和正

四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

本日の例会 第3375回

・ロータリーソング “それでこそロータリー”

・米山奨学生の卓話

九州大学 芸術工学専攻3年 博士

パク ジンヒ 氏

第3374回 例会 記録

10月12日(金) 普通例会

・ロータリーソング “我らの生業”

・卓話

北九州市立大学 外国語学部教授

中野 博文 氏

会長の時間

角南 雅徳 会長

最近、物覚えが悪くなりました。また、自宅でも財布や免許証、鍵の所在が分からなくなことはしょっちゅうです。目も悪くなり、眼鏡を変えようと思うのですが、強い眼鏡は頭が痛くなるので、少しボケた眼鏡で過ごしています。

そんな私が、70名近い会員の皆様の顔と名前と肩書

を覚えることは、中々大変なのです。これを打破するのは、卓話が有効です。先だって伊井さんが、ジャーナリズムの現状分析を、格調高く発表してくださったわけですが、このように卓話に立つてくださると覚えの悪い私でも、認識力が各段に上がります。皆様、卓話を積極的に引き受けてください。

少し前にイレブンの会というものがあまして、その際、他クラブの会長の話を聞く機会がありました。どのクラブか忘れましたが、あるクラブでは、例会を始める前に、出席者全員が、輪になって、天皇陛下の園遊会のように、1人1人が他の出席者全員と順次、顔を見つめ握手をした後、着席して例会を始めるというルールにしていると聞きました。我がクラブは、テーブルが同じ方とは話をするけれども、遠いテーブルの方は、全くお話をすることもなく、ちらっと姿をみるだけで散会するということがあります。皆様は、私のように記憶力や認識力が低いとは思いませんが、我がクラブは、70名近い方が、相応に入れ替わりながら所属しています。他のクラブのような園遊会方式は出来ないかもしれませんが、皆様には、できるだけ、洗心会を始め、クラブ行事に積極的に参加していただき、なるべく早く、皆が全員の顔と名前を完全に覚えられようになれば良いと思います。

幹事報告

坪根 幹事

・来週の例会の会場が変更になります。同じ3階ですが、向かいの「エンパイアルーム」にお越しください。

出席報告

佐竹 委員長

2018年7月1日：64名でスタート

	会員数	出席者数	メイクアップ	出席率
当日の出席	66名	35名	—	62.50%
先週の出席	66名	43名	19名	93.22% 修正後

◆ゲスト 1名 (卓話者)

◆ビジター 0名

ニコニコ献金

南浦 SAA

25,320円 : 累計金額 180,820円

原田 光久 君

小生が数年前から理事長を務めている小倉工業倶楽部は、永年に渡り童謡まつり&合唱音楽祭というものを毎年開催しています。幼い子から、いささかお年の方々までの色々なコーラスをきっとお楽しみいただけたと思います。今年は、明日、北九州芸術劇場大ホールであります。12時30分開場で、入場料はひとり1,000円(中学生以下は無料)です。

辰巳 和正 君

①10月8日のマリノアカップレースに参戦しました。
②司法修習生時代に指導しました、堀口悟郎氏は憲法学者になりましたが、この度『AIと憲法』を出版したと献本いただきました。弟子からの著作の献本は幸せレシピです。

加藤 守夫 君

5月24日に古稀になっていましたが、認めたくなくて今日になりました。最近身体にガタがきて、やっと思い知りました。古稀のニコニコをいたします。

親睦活動委員会

洗心会の残金をニコニコします。

委員会報告

親睦活動委員会

合馬副委員長

以前、玉井社長が卓話に来られ、そのご縁とご協力で、ギラヴァンツ応援を企画しました。11月30日(金)の例会を、12月2日(日)に変更してギラヴァンツ北九州応援の例会といたします。今シーズン最終戦ですので、特別個室「スカイボックス」にて、IACの生徒さんもお呼びして、お昼に開催します。会費は、ビュッフェとソフトドリンク付で3,000円です。お酒も個別に購入できます。最終戦&玉井社長&北九州を盛り上げたいと思いますので、趣旨を酌んでいただき、沢山のご参加をお願いいたします。

卓話

北九州市立大学 外国語学部教授

中野 博文 氏

『アメリカ合衆国の占領統治と

北九州地域におけるアメリカ文化の普及』



この卓話のテーマは、現在の北九州市を含めた九州北部にアメリカ文化が普及した契機です。私は職業としてアメリカ政治を研究して30年余りです。縁があって、この6月1日から3日、私が専門とするアメリカ研究の全国組織であるアメリカ学会の年次大会を北九州

市立大学で開くことになり、その責任者を務めました。九州北部地域でのアメリカ文化普及というテーマに出会ったのは、北九州市や北九州日米協会、NHK北九州局、西日本新聞社から協賛・後援を得て進めたイベントのなかでのことでした。それは「九州が進める草の根の日米交流」と題した、6月1日のシンポジウムです。

幕末から明治初年の時期にかけて日本の女子教育の確立に向けて活躍した熊本の女性たちの姿と、北九州の地でのジャズ文化の普及を紹介したのですが、北九州地域で幕末から高度成長期にかけて進められた日米交流について、専門家でも気づかなかった知られざる歴史が数多くあると感じたのです。例えば、戦後、ジャズが小倉で盛んになったのは、多くの人が知っています。6月1日のシンポジウムでも取り上げたのですが、その背景には小倉の米軍占領とともに、米兵向けの施設が数多く建設されたことがあります。そうした米軍の残した遺産は、北九州市立大学の教員を含めて多くの研究者が発掘しています。

ただ、そうした研究の大前提として、九州の米軍支配の中心地が小倉であったことは、地元の人々からも忘れられているのではないかと思います。九州を支配した米国陸軍第24師団が師団本部を置いたのは、現在の小倉城周辺で、「キャンプ小倉」と呼ばれたのです。また、その南には「キャンプ城野」と「キャンプ北方」をはじめとした軍事施設が置かれ、数千人のアメリカ人とその家族が暮らしていました。朝鮮戦争が始まると、戦地やアメリカ本国から大挙してアメリカ人が訪れ、現在の北九州地域は、日本でも有数のグローバル・シティとなるのです。

こうした占領期の日米交流を、現在と未来につながる文化創造の瞬間と捉えることができると、私は考えています。この時期のアメリカ音楽を地域に焦点を当てながら描いた研究書や、京都や札幌を舞台とした日米交流史の著作はありますが、残念ながら、北九州の

アメリカ文化普及を描いた本はありません。私が調べた範囲は限られていますが、戦後のアメリカ文化普及は、戦前からの日本の洋楽音楽熱が関係しており、北部九州でのジャズの普及は八幡製鉄所や門司港、若松といった世界に開かれた経済・文化があって進んだと考えています。いわば米軍の占領支配はジャズというアメリカ音楽が普及するきっかけにすぎず、実際にジャズが根づいていったのは、九州北部にグローバルな文化を受け入れるモダンな都市文化があったからと思うのです。

こうした北九州という都市のモダニズム文化を、会員の皆様とともに発掘し、地元である北九州の市民をはじめ、世界に発信することが、私の、また北九州市立大学の課題と考えています。



洗心会 報告

日 時：10月9日(火) 18時30分～

場 所：福銀北九州クラブ

参加者：角南、青木、天ヶ瀬、荒木、伊井、井芹、伊東、梅田、合馬、大木、加藤(守)、金子、城、柚、高取、濱田、廣渡、福島、二村、古江、松永、宮島、村上(公)、森、八尋、山口、渡邊、弓削、柏木、事務局



猛暑が台風とともに過ぎ去った10月初旬の夜、親睦活動行事「洗心会」が、福銀北九州クラブで盛大に開催されました。冒頭、松永親睦活動委員長の挨拶、荒木ロータリー情報委員長による勉強会の後、見事に“一番クジ”を引かれた金子会員の乾杯発声で会がスタート。その後は新会員の皆さんの挨拶を挟みながら、福銀さん施設のいつもの美味しい鍋料理と、皆さんから寄贈頂いた数々の銘酒を心行くまで堪能。特に宮島会員から頂いたアルコール度数50度の中国酒“白酒(バイチ

ュウ)”には、個人的には以前中国に出張した際に連続一気飲みさせられた記憶が蘇り、懐かしい(?)思いでした。会が始まる“使用前”と終わった後の“使用后”に記念撮影した写真(証拠写真)で、会の盛り上りを感じて頂けるとと思います。いつもながら施設の方々にも大変良くしていただき、本当に楽しい時間が過ごせました。文字通り、“心”を清らかに洗い流す大変貴重な体験が出来ました。有難うございました。

【報告者：高取】



寄贈酒

- | | |
|-------------|---------------|
| ・角 南：鍋島 | ・青 木：遠賀物語 |
| ・天ヶ瀬：まんさくの花 | ・荒 木：元光院 |
| ・井 芹：吟の瞳 | ・合 馬：亮天 |
| ・加藤(守)：仁勇 | ・城 ：薩摩維新 |
| ・柚 ：吉助 | ・高 取：甕雫 |
| ・廣 渡：山本 | ・古 江：ビール 30 本 |
| ・松 永：なかむら | ・宮 島：比良松、大曲酒 |
| ・森 ：大吟醸 | ・八 尋：瀧自慢 |
| ・山 口：茜霧島 | ・渡 邊：茜霧島 |
| ・柏 木：青龍王 | |

米山記念奨学会「特別寄付金」

例会当日寄付者

・ 8 名

合計

61,000 円

累計金額 (2018-19 年度)

312,000 円

【次回例会予告】

10月28日(日) 奉仕例会

・秋の清掃登山例会(風師山)

11月 2日(金) 普通例会

・国歌斉唱

・ロータリーソング“奉仕の理想”

・卓話

公益財団法人 九州交響楽団

専務理事 柴田耕志 氏

『九響の今』